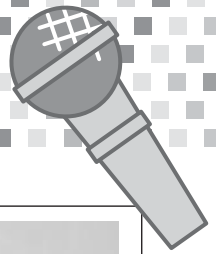


# 新規採用教員へのインタビュー



美若 誉那美 みわか ほなみ

鏡野町立鶴喜小学校教諭  
(令和2年度採用)

自己紹介

昨年4月に小学校教諭として採用されました。  
今年は1年生17名を担任しています。  
子どもたちと一緒に過ごす中で、自分自身も学  
ぶことが多いと感じています。

## Q 教員を目指した理由を教えてください。

大学は教育大学へ進学しましたが、実は、進学時には、教員ではなく大学院へ進学し、教育心理学を学んで臨床心理士の資格を取り、スクールカウンセラーになりたいと思っていました。しかし、入学した大学が、当時新設された国家資格「公認心理師」のキャリアキュラムに対応していなかったことや、指導教員から教員採用試験を受験することを勧められたこともあり、他大学へ編入するか、教員になるかを悩んでいました。そんな中、大学3年生で附属小学校での教育実習を行いました。子どもが懐いてくれ、実習が終わる際、別れを惜しんでくれたことや実習後に見

学した運動会で、担当した子どもたちが一生懸命頑張る姿を見て、先生の仕事はすごいと感じ、教員になりたいと思うようになりました。

## Q 実際教員になってみて、どうでしたか。

昨年度の1年間は、初任者として4年生の担任をしました。学生時代に経験した教育実習のようにはいかず、悩むこともありましたが、周りの先生方や子どもたちの笑顔に何度も支えられて、1年間をがんばることができました。

今年度になって、昨年度担任した子どもたちが、委員会活動を頑張っていたり、今年度私が担任をしている1年生や私のことを気にかけてくれたりする様子を見て、昨年度自分がしてきたことも、少しは子どもたちの成長の手助けになっていたのかなと思うことができました。上手く表現できませんが、教育実習との違いを実感し、子どもたちとの信頼関係が少しずつ築けているのかなと感じています。

## Q 仕事の中で気をつけていることは何ですか？

今年度担任している1年生の図工の授業で、散らかしたまま遊んでいたの、叱ることがありました。散らかし放題の教室を片付けていたとき、私の机の上に、紙の切れ端が置いてありました。こんなところまで散らかして思えないから、切れ端を手にとると、「せいせい、いつもありがとう」と書いてありました。その時、先生になって良かったと思いました。

教員としての経験が少なくわからないことが多いです。そんなときは、放置したり、一人で判断したりするのはなく、先輩や管理職の先生に尋ねるようにしています。もともと、人の話を聞くことが好きなので、子どもたちや先生方としっかりコミュニケーションをとるようにしています。

## Q 目指す教員像を教えてください。

1年生から6年生までどの学年でも任せられる教員になりたいと思っています。また、特別支援教育にも携わりたいと思っています。この夏から講習を受け、特別支援教育の免許状を取得したいと考え

ています。今は感覚で指導する部分もありますが、きちんと理論を学んで、子どもたち一人一人に合った指導や支援ができるようになりたいです。

## Q 教員採用試験の対策について教えてください。

教職教養や専門教養について、全国の過去問を3回通り解きました。面接練習も、大学の先生や友人などいろんな人を頼って何度もしました。正直、大学入試センター試験のときより勉強しました(笑)。

また、県外の大学へ行っていたので、岡山県の情報がほとんどなく、小論文対策を兼ねて、『教育時報』を取り寄せて読んでいました。

## Q 休みの日は、どんなことを過していますか？

歌うことが好きで、カラオケによく行っていました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今は全く行けていませんが、今の職場には、年齢が近い同僚も多いので、落ち着いたら、ぜひ皆さんとカラオケに行つて親睦を深めたいと思っています。